夕刊
二月三日發行
定價 一箇月金五拾錢 六箇月金六拾五錢
廣告料 一段通常金六拾錢 二段通常金一圓 三段通常金一圓五拾錢
發行所 磐城新聞社
（日曜祭日發行休刊）
東京振替一〇八〇五六五番

子供の日記から（舊稿）

小春久一郎

五月×日

今日は、おぢいさんも少し好いので商賣に出る事にしたが。色々と商賣上につい敬へて貰つたのがうるさくゆくかな。

小さい車だが、僕には少し重すぎる。おぢいさんにより引けたものだ。

『屑イ屑ーイー』

裏通りを歩きながら、僕の言葉が意外たやすく呼べた。

『屑イー屑イー』

五月の空は一片の雲もなく晴れて、矢鱈の音がからからと空一杯にひろがつてゆく、靜かな調だ。

『屑イー屑イー、屑ぬきまつてませんか』

車を鐵端に置くと、大屬さんのように袋を肩にかけて、一軒一軒廻ぬて廻つた。

松葉杖をついた白衣の兵隊さんが來られた。僕は帽子をぬいで敬禮した。兵隊さんは『有難う』笑つてゆかれた。

お父さんも、負傷されてはゐないからうか、出征されてから一つの便りも來ないのだ。元氣で勤つて下さればよいのになア——。僕は兵隊さんの後姿を何時迄も見送つてゐた。

『屑イー屑イー』

『近く下で誰かゞ呼んだ。見ると幼稚園歸へりの子供達であちら。五六人が、手をあげて呼んでゐるのだ。

『何か用か』僕が尋ねると

『ワーイ』

『屑イー』

呼びながら、皆な逃げて行つた

『何だ、つまらない。』

僕が又行かうとすると『ワーイ』とよつて來るのだ。

僕は、カーッとして追ひかけると、掴まへた子供の頭をどかんと、なぐつてやつた。子供は『ワーッ』と泣いて走つて行つた。僕は、スーッとした。

鯉のぼりが大きな影を落して、サーッとひるがへつた。

五月×日

お書のサイレンが鳴つた。僕は車を止めると、何日もの様にお濠端でお辨當をひらいた。

柳の黒い影に、緋鯉がはねた。

じつと、水面を見てゐると、商賣初めの失敗が思ひ出された。

商賣なんてやさしいものだ。そう思つて歸へる途へ驚いた。買物が全部賣日を間違へてゐたのだ。おぢいさんに何と申譯しからよいやに、あんな困つた事はなかつた。

『おぢいさんだつて、間違へた事があるからなア、心配する事ないよ。それからは氣をつけるのだなア』

そう言つて、叱られはしなかつたが、あんなつらい思ひをしたことは始めてだ。少し暗くなつたと思つたら、ポツリ、ポツリ、水面に波紋が擴がつた。次々にポツリ、ポツリ、擴がつてゆく。

『おや、雨だ』

僕はあはてて車に合羽をかけると、空を見上げた。

身邊一年

早川幾忠

（上）

○しばしして町食堂を出で立てば巷に家の日蔭寒しも

○商室に撒かれしビラがひらひらと散りゆく行方たしかならずも

○もののにすみか貰ひ來し園藝屋にするまで、第ふにはふといひて

○緣先に開ひし本瓜をとり入れて濃き緋の色に咲く日を待てり

○勝鬨とせる森などがこの朝の戸のひきあけに旅のごとしも

らくがき

△○生

やつがれが原稿を書き始めて、何故立派な日本語があるのにわざわざ知りもしない英語を並べたてたかと考へてゐる限りの英語を酷使して、相當なメイ文だらうと、一種のデモ（もう使つてゐる、の低能兒）であつたのだ。

× ×

今から考へると冷汗ものだ。

× ×

この間ラヂオで聽いた落語で、どれを飼したものがあつて、ラヂヌだのコヌヒだのを日本語に如何に改む可きかいろ〳〵面白い事を言つてゐた。

そんな日常の生活の中へまでも入り込んで來てゐるものは改めなくてもいゝが、無理があり過ぎてツオータアなんて怒鳴つてゐるのに水と一言で濟むのだから改善した方がいゝと思ふね。

× ×

文章や言葉の中へ英語を多く使ふ御當人は得意だが聞く方では胸が惡くなる。一層英語を使ふのであつたら全部英語でやつて貰ひたいものだ。それならこちらは全部語が判らなくて反つて氣持ちがよい。

× ×

金でも醫問でもないものに限つてあるふりをするのだから面白いものだ。

舊稿より

淺原純

うたかた

水に浮ぶ
うたかたの
力なき姿かな
短かき命を
さすらひ
波路にまきて
いづちまで流るゝかはかなし

力なき姿

此の道

一すじの此の道
昔より、又末長く
なべての人の通る此の道
それでゐて決して平坦ならない
そして又人により時により
色々に變る此の道
人々は溜息をつく
然し過ぎ去つた時を
美しく思ひ出す
人生と名づけられた
不思議な此の道

天氣豫報
小名浜側繰所觀側
今晩　北の風晴
明日　北の風晴一時曇

贈平稅務署平井課長
珠雲　小野務平

課抑溫恭夙絕倫
公明一志答楓展
慇懃平日接民衆
官界如斯有幾人

△太陰暦を太陽暦に改め此日を六年一月一日とす（明治五）△皇軍上海租界大行進（昭和一二）△京都大極殿燒失す（慶長七）△始めて郵便を定む（明治三）△横綱玉錦逝去（昭和一三）

3日
12月
4日
12月

つるの夢
○
うす月を雁なきたつる
霜夜かな　石鼎

平驛前
旅館とらや
電話六四八番

伸びよ太れよ
牛乳飲んで
平市鎌田町
電話五一
低溫殺菌
牛乳
鎌田

新車のお知らせ
斷然!!! 乘心地良い!!!
最新型フオード
入荷いたしました。
是非！御試乘の程を！
市内四丁目
スヂキタクシー
電話二一七番

お醬油は……ヤマフル
塩屋
味噌醬油
たひら正宗
鰹節　食品料
山崎合名會社
福島縣平市
電話（營業部一〇番 本店二七番）
明治生命磐城代理店　山崎與三郎

磐城の御みやげ品
改め靈峰羊かん
名物
みやな羊羹（名産梨かん）
——赤井嶽、二ッ箭山、山祇神社參詣土産！
姉妹品
磐城耶馬溪……美山羊羹
同　七滝……のり羊羹
同　豐間……辨天羊羹
◎各種　一本十錢
小川郷驛前
製造販賣元　平屋賣店

科外生徒募集
一、邦文タイプライター科
●時代の尖端を行く昭和婦人の職業
入學は毎月　隨時
卒業期間　四ケ月（高女卒程度）十ケ月（小高卒程度）
●卒業者の就職紹介は各方面と連絡を有し斡旋致します
一、洋裁科
入學は毎月　隨時
卒業期間　本科　一ケ年　速成科　六ケ月
文部大臣認可
平陽女學校
（平市　電話四四五番）

磐城平の名所
もなか
平市及び其の附近の古跡
白水の國寶阿彌陀堂
平市を離るゝ西方へ約一里半、約七百八十年程前、岩城太夫則道公の夫人德尼御前の創建に、御詠歌に
白水の清きほとりの阿彌陀堂　佛里のみたから國もあるから
靈峯阿彌井嶽
東北屈指の靈峯として有名な阿彌井嶽は水晶山常福寺と云ひ平市を離れ、約三里、大同二年德一大師の開基である。慶七月後平赤井嶽に登りて見る時夏井川に臨ふ火光が點々數す登つて來ると云ふ御龍燈の傳說がある。
勿來の關
吹く風を勿來の關と思へども道もせに散る山櫻花
八幡太郎義家と共に有名な勿來の關は常磐線勿來驛より約十數丁の地に高關址があつて歌碑が立てゝある。延久三年安倍貞任等を征伐に陸奥に下る途、偶々勿來の關を通りしに折から山櫻の吹雪を浴びた武勇の姿をそのまゝ一幅の畫である。
尼子橋
平名所は稻穗の上に九十九間の尼子橋の唄で著名な尼子橋は平市と內郷村をつなぐ橋で德尼御前が人民の難儀を救ふべく建久三年の頃架せられた。俳人芭蕉の句に
みちのくの尼子の橋やねの上
松ヶ岡公園安藤公銅像
春は櫻花、初夏は藤　あやめ等と色を添へ秋は楓や蔦　冬は雪景色美しく四季の趣き風情を賞せらるゝ松ヶ岡公園に先づ第一に仰ぎ見るは遙か太平洋を睨視せる銅像でもう、それは幕末の大老にして名政治家磐城平藩主安藤信正公の銅像である。

平ゆ　最中專門店　米屋
驛前通り

初冬の味覺
とんかつ專門の店
お待たせ致しました、どうぞ一層の御ひいきで御引立をお願ひ致します。
▼出前は迅速に御つとめ致します
平市仲田町（電話四六五）
かの家

怖しいものはありません。頭痛、メマヒ、耳鳴り、息切れ動悸、不眠も、吹出物も、記憶力や活動力の減退も、十中八九は便秘の害であります。子供はヒキツケさへ起します。御婦人は色艶を失ひ、ヒステリーの主因となります。大人は、ぐんぐん老衰を早め——ひいては、高血壓や腦溢血の原因にさへなります。これは皆、便の中毒なのであります。
しかし下劑の服用は、習慣性となり、胃腸を害します。それよりも、消化を助け、排泄を促がす各種の強力酵素とヴイクミンBの働きによつて快心の便通を齎らすミクローゼの御試用を、確乎たる自信を以てお薦め致します。
ミクローゼは星製藥が研究十八年、酵母剤にまさるの確信を得て發賣した日本固有の綜合ビルツ有効菌劑であります。

地方關係或は遲れん

好條件に惠まれ松戸日立間優先か

勿來―久の濱國道六號線改良事業

縣案國道六號線勿來久の濱間改良工事は、屢報の如く青沼平市長を會長とする期成同盟會必死の實現運動も酬いられず、時局下の豫算大削減に掛つて大藏省の査定に洩れ、目下第三次の復活要求中にあるが、前記區間に於ける沿線物資關係及び交通量等もさる事乍ら、同六號線國道中、千葉縣松戸、茨城縣日立間の改良も亦多年の縣案として當局の重大考慮に入つて居り、而も事變下に於ける工都日立の地位は他に優先するの好條件に惠まれてゐるので、或は之の方が先になり、地方民待望の平市を中心とするそれは、徐ろに時期の到來を待たねばならぬ運命に置かるゝなきやを憂ひられてゐる。

贈答と宴會減か

力强く大衆を支配する

經濟週間實踐事項

歲暮の贈答、忘年會。これ宣傳は今師走の鐵則として人心を支配する結果その方らの行事は長年の慣行習俗として徹底的の廢止も望まれず、時局下の慎しみを忘れぬ程度に於て極く內輪に行はれるものと豫想されてゐる處、今節季中を通じて明行される經濟戰强調週間の實踐事項として七分搗米の實用などと共にこの廢止が明記してあり、凜烈の朔風に曝さるゝ前線將兵の苦辛を一層痛切に考へさせらるゝ昨今柄に强ゐな迫力を以て大衆に反省を喚る處深刻なるものあり所柄之の廢止

日曹福島坑に專用線

完成後の活躍期待さる

赤井、好間兩村に有する數箇の小機械にあると云ふが坑を統率して時局の波に躍進する日曹礦業常磐出張所は所長新村右一郎副所長鳥居大悪事務長石躍鼠敏諸氏の潑剌たる陣容の下に着々順調な燃料報國に邁進してゐるが社所屬各坑中元福島炭礦は小川鄕驛に連絡する專用鐵道無く、著しく搬出の便を欠き、今後の採炭伸展に到底現狀を以て推移出來ぬ事情に立ち至つたので之に專用鐵道の計畫が具體化し、當局への手續き材料準備その他漸次進捗しつゝあり　遠からずその實現を

無火災祈願

小名浜町警防團では一日の防火デーに午前九時から全員鄕社鹿島神社に參拜無火災を祈願また植田町警防團では同日午前九時から八幡神社で無火災の祈願をこめ家庭防火群は各班毎に夫々防火懇談會を開いた

柳內上等兵戰死

小名濱町　船引場出身柳內重明上等兵は去月二

日湖北省で戰死した旨實家に通知あつた

同君は出征前自家の漁業に從來してゐた模範青年で留吉さん(五七)キイさんし(五二)夫婦の次男、遺族は兄秀明さん(三三)妹サダさん(一八)の外に二人の弟妹あり妻女ハツさん(二四)との間に一人娘のとも子さん(三)がある

無名子から

國防費に一圓

『市內一無名子』として每月市役所に金一圓の國防献金を寄託してゐる奇特の士があるが今月も昨一日差出で留吉さんし逃げるやうにして立ち去つたその心根に吏員一同は感激

夫の死秘めて一年

前線の伜を激勵す

健氣、軍國の母キクさん

錦村出身山田(茂)部隊伍長介所から係員が出張講演す小野嘉內君は同村初の應召兵として目下前線に活躍してゐるが實父遠司氏(五一)は昨年十月伜の武運を祈りつゝこの世を去つたのを母親春美、キクさん(四八)は『伜の士氣を沮喪するから…』と近隣のすゝめも斷乎しりぞけてその死を知らせず既に一年もすぎた今日、なほ『家內一同元氣で働いてゐるからお前も一生懸命お勤めを全うせよ』と激勵『軍國の母』の涙をかくしての働きぶりに附近民を感動せしめてゐる。

小野君の實家は母親と祖母ハツさん(七七)妹アイ子さん(一〇)の三人暮しである。

兩勇士英靈凱旋

前線に散つた市內紺屋町立花部隊一等兵久野寛也兩君の英靈は二日大阪港着で無言の凱旋をした

川前青年團總會

川前村青年團の總會は十六日開き、平職業紹介所も舊平商校舍を修理して第二學級が明きどうやら一息つけるわけである

演藝大會

慰問基金造成に磐城通信社主催

市內磐城通信社では各種團體後援の下に十九日午後零時半から公會堂に軍人慰問品基金造成の名人演藝大會を催すが會費八十錢・出演者左の如く純益金は全部市役所に寄託する

(浪曲)廣澤虎若(講談)神田伯龍(少女浪曲)鈴木照圓、第三小學校備品費に百圓を寄附した　午後三時死亡

(少女浪曲)丸山和歌子(小唄漫藝)叶家洋月、春木艶子(漫才)駒日日出丸

吉田氏寄附

市內白銀町吉田喜代治氏は長女喜美子さんの結婚披露會費を製氷倉庫から鹽鮭入りの箱を運搬中誤つて轉倒春髓骨折內木醫院に入院中一日午後三時死亡

人夫の奇禍

市內川町平製氷會社人夫新妻忠太郎さん(四〇)は三十日午後一時半頃市內五町目地內の學校に農產物品評會を開く

農產物品評會

川部村では今二日から、鹿島村では八日から、高久村では九日から何れも三日間各小學校に農產物品評會を開く

四倉陪審員候補者　四倉町の陪審員候補者は此程吉田喜三郎、滿山清四郎、橫田丈吉三氏當選

寄附　四倉村議長谷川重次郎翁の死去に際し嗣子義雄氏は左の如く各方面に寄附した

△金十五圓小學校基本金

△各十圓警防團、國防婦人會、軍友會、男女青年團、人事相談所、四倉救護所

首途を祝ふ移動線門

地方農村の時局朗景

物資の徹底的節約と完全の榮譽ある首途を送る絲門り青年團員或は近隣の人手消費とが昨朝青木藏相のラヂオ放送其他により、今師走を一期とする經濟戰强調週間に於て一般大銃後の協力一致から、各字經濟勞力の節減に子弟を軍衆から一人その完遂を意氣込まれてゐる折柄、之の舉國的趣旨に副ふ而あ兵隊送りし關して地方農村に現れた微笑ましい朗話。

入營祝送旗の副題として『こゝに日本男子あり』を象徴する勇ましさは、市街地及び收穫の濟んだ農村等を通じ每年末の年中行事で殊に昨今の時局下に描かるる軍隊風景としてその感激を深からしめて居るが、この事件發生以來は犯人が捜めて手近にありとした根强き先入まから、あらぬ濡れ衣の蔭口等が盛んに行はれ、甚しきに至つては何某が警官に同行されたのを見たなど、頗る念入りなデマ迄飛んだなど之に關する村內の惡氣流は旋て信用組合の內容に迄左右の疑惑を生じ組合の活動に就ても少からず

神谷に平和甦る

金庫破りの眞犯人が出て

あらぬ蔭口解消

昨報、信用組合の金庫破り將來を懸念される實狀に鑑みかねて居た矢先とゝ眞犯人の內鄕村宮の大火に際し消防火に盡力中の同村宮宇峯根の如く時局柄惡み滿なのでしのぐことになつた爲今年市の明年度豫算へは計上せ度に職員室、特別室も明渡ぬらしい、その代りとんどした第二校ではこれにより舊平商校舍を修理して第二學級が明きどうやら一息

第二校はつと一息

舊平商の利用から

兒童收容難幾分緩和

縣案第五小學校新築は既報から四學級を移して急場を凌ぐ時局柄惡み滿なのでしのぐことになつた爲今年度に職員室、特別室も明渡した第二校ではこれにより第二學級が明きどうやら一息つけるわけである

廣場を埋むる大衆

感激の嵐を捲き起す

現地から　菊池部隊本部報

十月五日正午から山東省○縣に於て盛大に擧行された定刻積年の惡政と腐敗から解放され、何の憂もなく各自の生業にいそしむことが出來るやうになつた民衆が、その晴々しい顏を秋陽に輝かせ、黃色の布地に日の丸と五色旗を染めぬいた良民章をひらめかせて、堂々たる一家の主人も、老人も女も、子供もはちきれるばかりの感謝と感激に滿々たる陸續として、會場縣公署前廣場につめかけて來た。

集まる者數千名、なほ場外には這入りきれない民衆が溢れて共に捧げ得ない感謝のやり場に困惑してゐる恐らくかうした美しい民衆東洋平和の實現は五族協和して相扶けあはなければならないと說いて四十萬民衆を迎へて盛大に擧行されたば

した皇軍に、四十萬縣民の感謝と信賴の心を送る民衆大會が整備司令菊池部隊長

中陣を聽く

(494)

寒風は荒ぶ

元入山從業員　大橋保雄君

事變以來三年目の嚴寒は會釋もなく追つて參りましたが、かつて綠濃き蒙古草原も既に黃塵萬丈朔北の風吹いて興亞建設に邁進する建樂土を建設の丸と五色旗を染めぬいた恐らくかうした美しい民衆東洋平和の實現は五族協和して相扶けあはなければならないと說いて四十萬民衆は皇軍の眞意を徹底せしめ旺盛にて軍務に精進して居ますが今後ます〳〵熱誠なる御後援を感謝しつゝ一

長現れるや日章旗、五色旗の感謝に答へるところあつを打振つてひときは感謝の言葉の嵐であつた。

各界の代表者は交々立つて正義皇軍を讃へ

『父祖幾代未だ會つて見ざる和と幸福の世となつた。吾々がこのよろこばしい時に生活し得ることは、一に皇軍の奮鬪の賜であることを知る、今後は則共滅滅皇軍と協力して興亞建設に邁進する

と宣誓したが、菊池部隊長は皇軍の眞意を徹底せしめ東洋平和の實現は五族協和して相扶けあはなければならないと說いて四十萬民衆

警防團員二名負傷

縣から松田主事補來村

內鄕村の大火後報

縣案第五小學校新築は既報から四學級を移して急場を凌ぐ時局柄惡み滿なのでしのぐことになつた爲今年度に職員室、特別室も明渡した第二校ではこれにより第二學級が明きどうやら一息つけるわけである

昨報、三十六戶を一となめ隣員細谷一郎君(二〇)は右眼にしたきのふ防火デー當日をボンプの腕木に當てられの內鄕村宮の大火に際し消何れも全治十日間の傷を負つた

なほこの大火に際し縣社會課から一日松田主事補が來村、取敢へず罹災者に食糧、小屋掛、被服等大体千五百圓程度の救助を行つてゐる

△全燒　木賃宿　佐藤德次郎　呉服商牛久恒三郎　菓子製造業星野定吉　雜貨商吉村公助　坑夫柏原新十郎　金澤巳之助　佐藤文太郎　高橋政造　關根喜三郎　二瓶章次　五十嵐ハル　泉海助　關根清　渡邊源八　高橋市太郎　石澤一郎　伊藤歌吉　遠藤利吉　高橋寅雄　高橋新五郎　稻月兵太　鹽澤捨吉　平澤幸作　吉田長五郎　山陪彦七　川部筆一　酒商鈴木村三

△半燒　大工西條久助　坑夫運山門次　米屋本田良三

平市慶弔錄

△出生　新川町二二猪狩己之吉氏長男欽彌君

▲死亡　新川町四芳太郎氏三男新妻忠太郎氏(四〇)

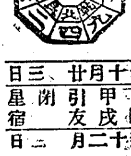
三日

【小名濱側機關所調査】

滿潮前八、三五　干潮前一、一〇〇　滿潮後七、一〇　干潮後一、四〇〇

四日

滿潮前九、一五　干潮前一、五〇〇　九、〇〇　干潮後三、〇〇五



日	三	廿	月	十二	癸酉	日曜	新
星宿	閉	引	友	甲戌	月	日	二

▲一白　內には理かなれど外には不信を招き易き日△二黑　こゝ手段を採らず飽くまで働きに依るべし▲三碧　氣分を新たにし奮鬪すればたい頭し來るべし▲四綠　自我の念をおさへ人にさからはずば無事なるべし▲五黃　遠くとも平坦の道を廻れ急直なればつまづきあり▲六白　出先きに長居すれば人の口舌にまき込まる▲七赤　從來行きなやめる事も圓滿に運び捗どる吉日▲八白　內治らされは外に向つての鈍錆も鈍るべし▲九紫　過大の望みを掛げず只平和を專一とすべし

日	四	廿	月	十二	己亥	月曜	新
張宿	日	建	先負	月	乙	日	二

▲一白　別々に秒ひ付きて來る開店名弘め等良好▲二黑　功名榮達期して待つべし開店名弘就職皆吉▲三碧　暗がりに物を探るが如く思ふ樣にならぬ日▲四綠　我儘は動搖を生じ易し退き守るが安全なり▲五黃　區々たる小節を捨て高處より大觀して進め▲六白　事は少々長引くと難し願望は成就すべき日▲七赤　文書言語をつゝしみ行ひなくづさぬ樂注意すべし▲八白　之れまでとゞこほり居たる雖事も解け去るべき日▲九紫　あせり氣のみ長じて落付きを欠く注意すべし

廣告

田每の志るこそうに

電話六三二番

どん屋永山總松

謝近火御見舞

內鄕村大字宮

島田醫院

應召軍人慰問品基金造成演藝大會

浪花節　廣澤虎若
講談　神田伯都
歌謠　丸山和歌子　外數種

場所　平公會堂
期日　十二月十九日
會費　金八十錢
〔ヒル正午・夜五時〕

主催　磐城通信社
後援　平市役所　外各種團體

帝都演藝豪華名流出演

產婦人科專門

平市南町

根本醫院

(入院隨時)　電話三四番

りんこしび病　專門藥

岩里別府淋藥　一週間分參圓(黑)五圓(赤)

痛みを伴ふ病。熱ある病

岩里別府散　七包入五十錢　十五包入壹圓

製藥本舗　別府市　岩里天然堂

平市古銀治町一〇

代理店　阿康藥局

電話四十四番

振替東京三〇、六五番

毎度有難う御座います。

パン食普及の秋！

自慢の食パン　一斤十六錢

榮養パン　十五錢　バターロール二錢五厘
甘コッペ　十錢　チョコレートロール五錢
クリームロール五錢　野菜サラダパン、カレーパン、カツパン

ベーカリー　東京堂

平市稲槌小路〔電話一〇八番〕

醫學士　吉田久雄

吉田眼科醫院

平市紺屋町　電話六八番